

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 諸星常平 幹 事 瀬戸 誠 会報委員長 西村隆之



奉仕を通じて

平和を

2012年～2013年度国際ロータリー会長
田中 作次

第1338回例会 2013年5月16日(木)(晴)

司 会 飯田隆明副幹事

点 鐘 諸星常平会長

合 唱 「我等の生業」(北村まり子さん)

ビジター紹介 梶山欣哉君(秦野中)

会長の時間

○ 世の中、株が上がったりして、少し明るくなってきた様な気がします。橋下大阪市長の従軍慰安婦の問題発言でマスコミが色々取り上げています。昔は色々な理由で女性が犠牲になってきましたが、今は声に出してはいけないのではないかと思います。中国から“モラルの問題だ”と言われましたが、日本はモラルやマナーが最高の国だと思いますので、釈然としません。自分の考えをきちんと言えるこんな人がいてもよいのではないかと思います。私の考えですが…。

○ ガバナー事務所より

1、次年度 ポリオ・プラス寄付ご協力をお願い
寄付目標として一人40ドルのご協力をお願いすることとなりました。一人当たり200ドルの寄付年次とは別のものとなります。

2、米山奨学生の世話クラブ変更について
世話クラブ 秦野名水 RC → 平塚南 RC へ

理事会報告

○ 商工まつりについて

会員数	43名
出席数	32名
出席率	74.42%
前々回の修正	休会

メークアップ	[事後]酒井君 原君(地区) 伊藤さん(トスボール)
--------	-------------------------------

5/25(土)・26(日)の出欠を取る。

歓迎会・・・日時：5/25(土) 18:00～

場所：やなぎ家本店

会費：5,000円

準備するもの・・・両替金、やきそば券、

チャリティボックス、タスキ

参加者の服装は普段着で！

→承認

○ 5/30(木)移動例会について

通常例会とする。卓話の時間に次年度青少年交換学生について・・・10分程度。

卓話者は後日決める。

○ 次年度米山奨学生受け入れについて

奨学生が木曜日に来る事が出来ないで、地区に戻した。

○ 古河東RC創立30周年登録料について

参加者¥10,000を来週より集金する。

6/27(木)最終例会について

場所を日立の中のシジュールで行いたい。

幹事報告

[受付文書]

1、米山記念奨学会より 「ハイライトよねやま158」

2、ロータリー財団より 「ロータリー補助金ニュース」

[例会変更] 秦野 秦野中 平塚南

スマイル報告

○ 梶山欣哉君(秦野中) 「お世話になります」

本日のプログラム	5月23日 ○ 卓話 高橋(幸)君
----------	----------------------

次週のプログラム	5月30日 ○ 卓話 梅原君
----------	-------------------

- 諸星常平君 「残り2カ月を切りました。来週の商工まつり、浪江焼きそば、宜しくお願いします。中島君、卓話をお願いします」
- 瀬戸 誠君 「今月の25日、26日は商工まつりで浪江焼きそばを行います。皆様ご出席のほど、宜しくお願いします」
- 河野治男君 「スマイルします」
- 桐山晃忠君 「五月晴れにスマイルします」
- 飯田隆明君 「スマイルします」
- 今井茂文君 「昨日の同好会のコンペ、ご苦労様でした。所用の為、早退します」
- 神崎達朗君 「焼きそばが食べられそうもありません」
- 櫛田史子さん 「楽しいですね(^-^)」
- 淵脇美代子さん 「商工まつり、焼きそば券、宜しくお願いします」
- 古谷スミ子さん 「先日の姑の葬儀の折にはお世話になりましたありがとうございます」
- 諸星道治君 「スマイルします」
- 山本裕宣君 「スマイルします」
- 北村俊和君 「スマイルのご協力、ラストスパート宜しくお願いします」

合計 50,000 円

◎古谷スミ子さん挨拶

先日の義母の葬儀にはご会葬いただき、また、クラブより生花を頂き、ありがとうございました。88歳でした。古谷商店は義母がここまで盛り上げてきてくれました。ガンでしたので最後はホスピスで眠る様に逝きました。

委員会報告

○ 桐山晃忠会長エレクト

米山奨学生・青少年交換学生についての報告とお願い

・米山奨学生について

秦野名水RC→平塚南RCへ変更

理由 木曜日の例会に出席できないため。

(大学の研究では木曜日は休めない)

・青少年交換学生について

受け入れの件

5/9に連絡があり、5/11オリエンテーションが開催され、ここでロシアからの交換学生(女性、アルタナブさん)を受け入れることになりました。

アドホック委員会設立について

① カウンセラー、ホストファミリー

通学校を決めるため、委員として

大津俊彦君 大屋富茂君 高橋修平君

多田嘉之君 高橋幸雄君 中島賢治君

米山君夫君 諸星道治君 諸星常平君

三留文雄君 北村まり子さん

※例会終了後、お残り下さい。

○ 友好クラブ委員会 多田嘉之委員長

6/4、古河東RC創立390周年記念式典への参加者はAM8:30、秦野商工会議所集合、バスで行きます。詳細は次週お知らせいたします。

○ 親睦活動委員会 前 肇委員長

「浪江焼きそば」へ出店(商工祭り)に伴い、4名の浪江町の方がいらっしゃいます。歓迎会を開催します。

日時 5/25(土) 18:00～

場所 やなぎ家本店

会費 5,000円

※出欠表を回覧しております。

○ プログラム委員会 東島礼美委員長

例会変更のお知らせ

5/30 移動例会 → 通常例会

卓話 梅原君

○ 社会奉仕委員会 高橋修平委員長

「浪江焼きそば」(5/25(土)、26日、商工まつりに於)について(雨天決行)

① 当日の人員割り当てをFAXさせて頂きました。

② 焼きそば購入券(1枚400円)の購入、ありがとうございました。

当日は是非参加し、盛り上げて頂ければと思います。

卓話

「憲法96条改憲について」

中島賢治君



皆さん最近、新しいことにチャレンジするとかワクワクドキドキする事をしていますか？年齢を重ねていくとなかなかそういう機会が少なくなってきます。

私は先日、23年間ゴルフをしていて初めて神奈川アマにチャレンジしました。とても緊張してドキドキしたのですが、何か新鮮に感じたのです。ワクワクドキドキにチャレンジするというのは、年齢を重ねていくほど大切なものかもしれません。

私が新しい事に接するのを意識するには理由があります。毎月自分の経験や体験や考えた事のコラムを書いているからです。これは今月で106号になりますから、9年弱続いています。

弊社のマンスリーニュースとして毎月アップしているので、興味のある人は是非覗いてみてください。URLは<http://www.arclu.com>です。

コラムのテーマは仕事・金融・政治・グルメ・旅行・芸術などでまるでタ刊フジのようです。ちなみに競輪競馬、風俗情報はありませんけど・・・(笑)。具体的に最近のテーマは以下の様です。

3 月期 楽天証券新春講演会・竹中平蔵氏、イタリアフィレンツェスカーナ旅行記、ロバートキャパ・ゲルダタロー2 人の写真家展、イタリアフィレンツェ激安激ウマグルメ情報

4 月期 ロバートフェルドマン講演 1 票の格差の是正は簡単に出来る、ミャンマー旅行記

5 月期 本の紹介 橘玲著「資産防衛マニュアル」、グルメ 世界一の美味しい食べ物マッサマンカレーとは？、鹿児島知覧特攻平和会館を訪問。

こんな感じです。

さて、今日の卓話はこの鹿児島知覧の特攻平和会館の話をしたと思います。

なぜ、今回ここへ行こうと思ったのか？それは百田尚樹さんの大ベストセラー「永遠のゼロ」を読んだからです。この本をウルウル泣きながら、読み終えて思ったことは・・・「鹿児島・知覧特攻平和会館に行こう」太平洋戦争末期の沖縄戦において特攻というの作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の思いはどんなものだったのだろう。

今の平和や繁栄があるのは、このような悲しい歴史があったことだということを今実感すべきだと、強烈に思ったからです。この本はそういう意味では、私に何かのきっかけを与えたのでは？と思うくらいインパクトの強いものだったからです。

知覧に行ったのは3月の末。あまり見るところがないこの周辺ですが、特攻平和会館に行く前に、JRの最南端の西山駅より開門岳の素晴らしい景色を見て平和会館に向かいました。平和記念館の中に入ると重い空気が漂っています。ホールの中には戦闘機が飾られ、周りの壁には1036名（特攻によって命を失った）の遺影が飾られ、ショーケースは本物の遺書や絶筆が展示されています。わずか20歳前後の若者が自らの命と引き換えに敵艦を撃沈するた

めにこの地から飛び立っていったのです。そんな立場に置かれた若者の家族を思いやる手紙などを見たらこらえきれずに泣いてしまいます。

そんな悲しい思いも少し経つとだんだん怒りに変わってきます。当時の戦況は連合軍が沖縄上陸作戦を決定した段階で日本の敗戦は確定的だったそうです。つまり負け戦がわかっていた中で、この特攻という行為は「悪あがき」の何物でもないということです。小説「永遠のゼロ」にも書かれていましたが、この若者達は故郷に妻を、子を、両親を、恋人を残したまま、一人として好きこのんで「死にたい」などと望んだ人はいないということなのです。そう考えると、特攻の若者達の死を美化するのは違和感を感じるのです。本来であれば、この人の命を命と考えるこのシステムがいかに愚かであったかというのを、もっと強調した表現があってもいいのではと思ってしまいます。端的に言ってしまうえば、国に「おまえ死ね！」といわれているようなものですから。

そんな怒りが確信に変わったのが上原少尉の遺書を目にした時です。実はこの特攻平和記念館から車で5分くらいのところに、富屋食堂（ホタル館）があります。ここは特攻の母として慕われた「鳥浜トメ」の食堂で、平成13年に資料館として復元されたもののなのです。平和記念館を出て後、富屋食堂の中に展示されていた上原少尉の遺書が私には一番印象に残るものでした。

上原良治（少尉）とは、慶応大学経済学部在学中に学徒出陣となり、特攻隊員として22歳で死んだ若者で、戦没学生の手記「きけわだつみのこえ」に、所感として遺書が掲載された特攻隊員なのです。

彼は自らのことを「自由主義者」と呼んでいました。出撃前に帰省した際、「おれが戦争で死ぬのは国のためでなく、大切な人のため。おれは天国に行くから靖国神社にはいない」と家族に話していました。

彼の遺書を紹介しておきます。

私は明確に言えば自由主義に憧れていました。日本が真に永久に続くためには自由主義が必要であると思ったからです。これは馬鹿な事に聞こえるかも知れません。それは現在日本が全体主義的な気分包まれているからです。

しかし、真に大きな眼を開き、人間の本性を考えた時、自由主義こそ合理的なる主義だと思います。戦争において勝敗をえんとすれば、その国の主義を見れば事前において判明すると思います。人間の本性に合った自然な主義を持った国の勝戦（かちいくさ）は火を見るより明らかであると思います。日本を昔日の大英帝国の如くせんとする、私の理想は空しく敗れました。この上は、ただ日本の自由、独立のため、喜んで命を捧げます。

(抜粋)

第2の遺書の巻末にこう記されていました。

離れにある私の本箱の右の引出しに遺本があります。
開かなかつたら左の引出しを開けて釘を抜いて出して下さい。

これにより出てきた物が第3の遺書です。

親しい身内だけが知り得た遺書がこれです。

権力主義、全体主義の国家は一時的に隆盛であろうとも、必ずや最後には敗れる事は明白な事実です。我々はその真理を、今次世界大戦の枢軸国家において見る事が出来ると思います。ファシズムのイタリアは如何、ナチズムのドイツもまた、既に敗れ、今や権力主義国家は、土台石の壊れた建造物のごとく、次から次へと滅亡しつつあります。真理の普遍さは今、現実によって証明されつつ、過去において歴史が示したごとく、未来永久に自由の偉大さを証明して行くと思われまふ。空の特攻隊のパイロットは一器械に過ぎぬと一友人がいった事は確かです。操縦桿を採る器械、人格もなく感情もなくもちろん理性もなく、ただ敵の航空母艦に向かって吸いつく磁石の中の鉄の一分子に過ぎぬのです。理性をもって考えたなら実に考えられぬ事でも強いて考えうれば、彼らがいうごとく自殺者とでもいいましようか。精神の国、日本においてのみ見られる事だと思ひます。

一器械である吾人は何も云う権利もありませんが、ただ、願わくば愛する日本を偉大ならしめられん事を、国民の方々にお願いするのみです。こんな精神状態で征ったならもちろん、死んでも何にもならないかも知れません。故に最初に述べたごとく、特別攻撃隊に選ばれた事を光榮に思っている次第です。

(中略)

飛行機に乗れば器械に過ぎぬのですけれど、いったん下りればやはり人間ですから、そこには感情もあり、熱情も動きます。愛する恋人に死なれた時、自分も一緒に精神的には死んでおりました。

天国に待ちある人、天国において彼女と会えると思うと、死は天国に行く途中でしかありませんから何でもあります。明日は出撃です。過激にわたり、もちろん発表すべき事ではありませんでしたが、偽わらぬ心境は以上述べたごとくです。何も系統だてず、思ったままを雑然と述べた事を許して下さい。

明日は自由主義者が一人この世から去って行きます。

彼の後姿は淋しいですが、心中満足で一杯です。

云いたい事を云いたいだけ云いました。

無礼を御許し下さい。ではこの辺で。出撃の前夜記す

(抜粋)

また、帰郷した際家族に次の様に話したそうです。

「俺が戦争で死ぬのは愛する人たちのため、戦死しても天国へ行くから、靖国神社には行かないよ」

この遺書を読めば、本当に若者達が好き好んで特攻に行ったということでないことが明確です。私は国家総動員体制の中で人間を追い詰め、無意味な死を遂げさせられたこのばかげたシステムに怒りを感じます。

最後に開門岳のことについて触れておきたいと思ひます。特攻平和記念館の大きなフロアの一番目立つところに大きな開門岳の写真パネルが貼ってあります。これは特攻隊員が知覧の飛行場から沖縄に飛び立ち、この開門岳を見ながら飛んでいくのです。その時、特攻隊員達はこの山が見えているときは、まだこの世に未練が残っている状態なのだそうです。開門岳が見えなくなると、いよいよ自分自身で決心をして、戦地に向っていくのだそうです。そんな説明を受けた開門岳は物悲しく見え、先ほどJR西山駅から見た開門岳をふと思い出すのでした。

